

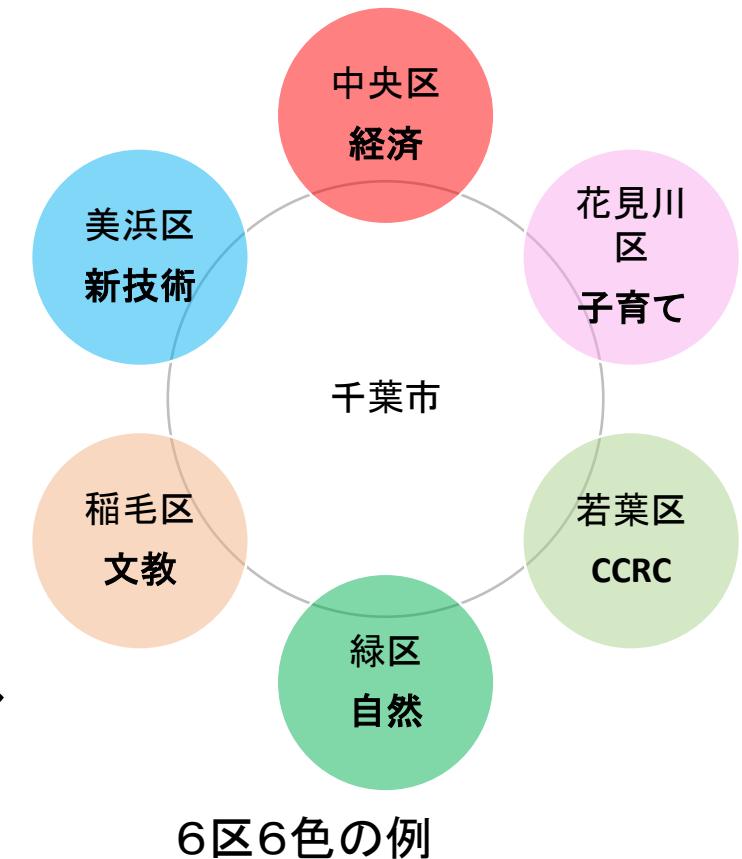
6区6色の千葉市へ

千葉市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」、「総合戦略」素案への意見

東邦大学大学院 理学研究科 環境科学専攻 修士2年
粟飯原 希

- ・人口減少 → 財政縮小
 - 千葉市全体、どこも高齢者に優しく、子育てしやすい街づくりには無理がある
 - 各区で「押し出すところ」を持つ必要がある。
 - 土地利用のゾーニング、人口配置を議論、合意形成。
= 6区6色の特色を打ち出した長期戦略をつくる。

例)もしも若葉区をシニア特区にするとしたら
 ◎早くから市民活動に参加するアクティブシニアの多い街、
 CCRC(Continuing Care Retirement Community)
 ×姥捨て山のイメージ



- ・「遊ぶ、学ぶ、働く、老後」各ライフステージで住みやすい、各場面で足を運びたくなる街をつくる。

周辺自治体との地域連携事業

＜教育＞

- ・千葉市の子どもたちが南房総などへの漁村・山村留学の推進。
- ・周辺自治体の子どもたちが千葉市のマリンスタジアムでの野球観戦や海辺のイベントを体験。千葉市で職場体験。

＜観光＞

- ・千葉市と周辺市の着地型観光を結び、プランニング、PRする。

旅のコンシェルジュ ●●

南房総いいとこどり

ツイート いいね！ シェア Google™カスタム検索

南房総の魅力 スポットを探す イベント情報 ライブラリー ライブカメラ 宿泊・体験

トップ > ニュース一覧 > いいとこどりニュース一覧 >

いいとこどりニュース

2012年7月3日

千葉市から南房総市へ山村留学

千葉市立宮野木小学校の生徒160人が南房総市内の岩井、富浦地区の民宿23軒に分宿して、南房総の生活を体験します。千葉市が進める農山村留学推進事業で、子どもたちが、豊かな大自然の懐に抱かれながら、農業体験や林業体験などの体験活動を行い、その中で実施するホームステイでの生活体験で、家族のありがたさや友情と協力の大切さを実感するのが目的のものです。長野県で行われてきたが、千葉県内で行う初めてのケースです。

宮野木小学校の生徒は、7月1日～4日の3泊4日の期間中、2泊を大房岬少年自然の家で過ごしていましたが、民宿の方々との対面の場面でも元気なあいさつと歌を披露。鎌田商工観光部長から「6年生の楽しい思い出とともに家族とまた来てください。」と歓迎のあいさつ。橋本校長先生からは「民宿の方々とどんな体験をするのか楽しみにしています。」と民宿の体験で新たな発見がされることを期待していました。

各民宿では、民宿の仕事を体験するほか、宿によってはびわの種を使った杏仁豆腐づくりやびわジャムづくり、タコ漁や船に乗っての遊覧など南房総らしい生活体験が行われます。



民宿の方々とご対面

https://www.mbosso-etoko.jp/top/goodlife/disp_A.asp?id=12543&group=1

⑤地域経済を支える人材の育成

- 「就活イベント」だけではない、千葉市内の**企業採用担当者、経営者と学生とのマッチング**。

(画像)

参考)

知るカフェ



千葉の元気な社会人と学生が、ホンネで語り、わかちあう場

わかちば

- 市が大学への**研究、調査の協力の働きかけ**(環境分野、社会・経済分野)。

①妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

- 汲み取りにくい子育ての現場の声を、保育所などに赴き、ヒアリングをする。意見交換の場を作る。

②充実した教育・保育の提供

- 家庭の経済環境によって塾に通える子、通えない子で学力や進路に差が出ない学習支援。
→放課後教室塾
- 小学生、中学生、高校生の各段階で街づくりのワークショップを経験。→ 愛着に繋がる。

④若さにあふれた活気あるまち

- 高校の生徒会、成人式の実行委員会、青年会議所などに参加する**若いリーダーを育てる。**
市内の人脈を結ぶ場の提供。
- 高校生や大学生による政策コンペ。



習志野市

③アクティブシニアの参画推進

- ・シニアを育て、活躍の場を提供する。

パークマネジメントや子どもの学習支援、自然体験活動支援のできるシニアを育成する。

参考) 大阪府営泉佐野丘陵緑地 泉佐野市

BPnet ビジネス PC IT テクノロジー 医療 建設・不動産 TRENDY WOMAN ショッピング

新・公民連携最前線

～PPPまちづくり～

日経BP社の記事すべてから検索

TOP 特集 自治体トップが語る キーパーソン登場 事例研究 ニュース

TOP > ニュース・コラム > ニュース

ニュース

「緑の都市賞」に泉佐野丘陵緑地、公民連携の公園整備や維持管理を評価

山田 雅子＝ライター [2015.10.28]

おすすめ シア ブックマーク ツイート 印刷

公益財団法人都市特化機構は10月14日、同機構が主催する「緑の都市賞」を発表した。最高賞となる内閣総理大臣賞には、大阪府営泉佐野丘陵緑地（泉佐野市）を管理する市民ボランティアの泉佐野丘陵緑地パーククラブと活動を支援する企業グループの大輪会を選出した。市民ボランティアと企業グループ、行政の連携による大規模公園の整備、管理、運営について、先駆的な事例として評価した。

受賞の対象となった大阪府営泉佐野丘陵緑地は、泉佐野市上之郷にある大規模府営公園だ。府民と企業、団体などと協働して整備、運営を進めていく新しいタイプの公園として2014年8月にオープンした。元からの地形や自然、景観を活かした空間づくりと、公園内で開催される各種イベントや体験プログラムを、府とボランティア、地域団体、府民が協力して企画、実施するなど参加型の公園づくりが特徴だ。

大阪府と共に公園づくりの企画、運営をしているのが、今回の受賞者であるボランティア団体、泉佐野丘陵緑地パーククラブだ。同クラブは公園内の動植物の調査、広場や公園の園路や散策道の整備と保守、園内の棚田跡を活用した米作りやサツマイモづくり、竹炭や梱箱、樹箱などの制作、公園PRイベントの開催といった活動のほか、専門家を招いての動植物に関する勉強会や、他の公園のボランティア団体の交流などを行っている。

大輪会は、「大阪国際花と緑の博覧会」（1990年）への参加をきっかけに設立された関西を基盤とする企業グループだ。りそな銀行、大阪ガスなど53社（2015年7月現在）で構成され、大阪各地で緑化活動への支援などを行っている。泉佐野丘陵緑地では、公園の整備段階から機材や設備、人材育成などで総額2億円程度の支援を行ったほか、公園で育てた花苗を、関西国際空港をはじめとする府内の公共空間に提供し、地域活性化にも貢献している。

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/tk/15/433782/102600140/>



[画像のクリックで拡大表示]



[画像のクリックで拡大表示]



[画像のクリックで拡大表示] [画像のクリックで拡大表示]
泉佐野丘陵緑地では「府民や企業の参画による手づくりの公園づくりを通じ、適度に人の手が加わり、均衡の取れた美しい環境」の創出を目指している。写真上2点は国内風景。左下は園内ガイド、右下は園路づくりの様子(写真:4卓とおひら原作)



[画像のクリックで拡大表示]

緑の都市賞は、緑豊かなまちづくりを目指し、緑を用いた環境改善や景観の向上、まちづくり、施設づくりに成果を上げている市民団体や企業、および個性的な施策で都市の緑の保全に成果を上げている公共団体を表彰するもので、今回が第35回となる。内閣総理大臣賞のか、国土交通大臣賞、都市緑化機構会長賞、奨励賞の3賞にそれぞれ3グループが選出され

なお、都市緑化機構は同日付で「緑の環境デザイン賞」と「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」の受賞者を併せて発表している。

「第35回 緑の都市賞」「第26回 緑の環境デザイン賞」「第14回 屋上・壁面・特殊緑化技術コンペティション」受賞者と競争一覧 (PDF) 6

①都市のコンパクト化と活力を生み出す地域空間の形成

- ・空家や空き団地 → 「知の拠点」事業の拡大。
- ・耕作放棄地、荒地 → 市民農園、有機野菜づくりの場にする。
- ・多様な自然が強み = 自然を高付加価値化し、持続的・高収益な産業を育成し、子育て世代を呼び込む。
→ プレーパークや森の幼稚園の活用などを通して、環境教育を充実させ、子どもの生きる力や郷土愛を育む。
→ 公園にレストランやカフェの設置ができるよう、規制緩和、支援。

(画像)

③公共施設マネジメントの推進

- ・将来、維持管理費を市が負担できず、公民館や図書館の統合が必要となる。
→ 早期段階からワークショップを行い、市民との合意形成を図る。
(使用料金の値上げ、施設統合、民間機能導入の検討)

参考) 習志野市 公共施設再編

①都市アイデンティティの確立

- マスコミに報道してもらえるように、情報を戦略的に流す。
→ 外部からの評価によって、市民に再評価される。
例)エアレース、障害者スポーツ
- 人との繋がりや思い出(家族で遊んだ公園、デートスポット等)の場所が必要。

(画像)

②市民全員参加のまちづくり

- 子どもの頃から街づくりのワークショップを経験
→ 長期計画を市民がつくる。

①「おもてなし」の開催準備

- ・「自分たちの街にオリンピックが来る！」という意識の醸成。

例)一校一国運動

- ・外国人観光客 増加

→ 谷津田を利用した「都心で里山体験」

自動運転自動車、ドローンの先端技術体験。

(画像)

②有形・無形の「レガシー」の未来への継承

- ・「障害者スポーツといえば千葉市」にする。

→小中学校の生徒が試合観戦、市内企業の観戦優待。

授業や市内のイベントで障害者スポーツの体験の推進。